

主に人間関係を  
中心とした活動

## 【 ごっこ遊び 】

\*豊かな感性と表現 \*協同性  
\*言葉による伝え合い  
\*社会生活との関わり

(ねらい)・自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ  
・友だちと目当てを共有し、考えを出し合いながら遊びを進めていくことを楽しむ

ごっこ遊びのおもしろさとは

- ・楽しいことを何度でも再現できる。 ・本物のようにできる。
- ・なりきって遊べる。・憧れの対象になることができる。
- ・自分ではない強いもの、かっこいいもの、かわいいものになることができる。

(0・1・2歳児)

ごっこの芽生え

まねっこ～つもり遊び・見立てて遊ぶ

～ごっこ遊び

身近な人のまねを楽しむ

おうちごっこ ままごと遊び

お世話遊び お出かけごっこなど

物を何かに見立てることを楽しむ

「～みたい」 見立て遊び

(3歳児) 友だちとごっこで遊ぶ 体験を思い出して遊ぶ

ご飯はまだ?

もう少しでできるからね



### 知識及び技能の基礎

基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得  
日常生活に必要な言葉の理解

### 思考力・判断力・表現力等の基礎

自分なりの表現 表現する喜び

### 学びに向かう力・人間性等

安定した情緒

- ★場づくりに必要なものの提示や材料の準備、なりきれる設定や素材、用具、衣装を用意しておく。
- △遊びの中で幼児なりの思いが出せるように、共感したり代弁したりする。
- △幼児が何を楽しんでいるか、どういう自分になりたいと思っているかを見極める。
- △相手の思いに気付いたり、受け入れたり楽しさを共感できるように仲介する。
- ★遊びのイメージが共有できるように、絵本、写真などの提示をする。
- △教師がイメージをつなげる言葉かけをする。
- △考えたり工夫したり相談できるような時間を十分とれるようにする。
- △一人ひとりの楽しさ、気づき等の把握と理解をする

(4歳児) 友だちと一緒に考えた遊び場で活動することを楽しむ

友だちとイメージを共有する

△幼児の発想を大切に、友だちと一緒に遊ぶ姿を見守ったり、イメージが膨らむような助言をしたりする。

○友だち同士の関わりの中で、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」など言葉を使ったやりとりをしながら、なりきって遊ぶ。

それは何？  
どうして遊ぶの

いらっしゃいませ



知識及び技能の基礎

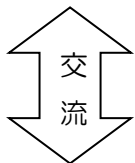
日常生活に必要な言葉の理解  
遊びに必要なものがわかる

思考力・判断力・表現力等の基礎

気付いたことを言葉に表す  
社会のルールや場面に適した言葉遣い

学びに向かう力・人間性等

話合い 共感 目的の共有  
協力 友だちと一緒に遊ぶ喜び  
や楽しみ



○自分たちのつくった遊びに招待し、遊びに来ることを喜ぶ。

△3・4歳児と5歳児と一緒に活動する中で自然に関わりがもてるようにする。

○5歳児は3・4歳児にわかりやすく遊び方を言葉で伝えたり、やさしくかかわったりする。

△5歳児のアイデアや活動の様子に憧れの気持ちももてるような場を設定する。

(5歳児) 友だちとのつながりを深めながら、主体的に取り組む

役割を考えて遊ぶ



メニューをつく  
った方がいいよ

回転寿司にしたいけど、ど  
うしたらまわるかな？

△友だちとイメージを共有して遊びを進めていく姿を認め、みんなが共通の世界を感じて思いを深めていけるようにする。

△数や文字に対して関心もちはじめたときに、すぐに取り入れられるよう、数や文字表を用意し、教師も一緒に書き、書くことの楽しさを味わえるようにする。

知識及び技能の基礎

遊びの中でのつながり  
(関連性)の発見  
必要感に基づいた制作や  
表現の工夫  
日常生活における役割を  
意識

思考力・判断力・表現力等の基礎

必要感に基づいた制作や表現の工夫  
創意工夫 想像力 思考力 探究心  
表現力 協調性 達成感 満足感  
振り返り 思いや考えの伝え合い

学びに向かう力・人間性等

友だちと目的や見通しの共有 共感  
相手の考えの受容 役割の分担  
役割意識 協力 やさしさ 気遣い  
思いやり 自己肯定感 全員で遊び  
を進めていくことへの期待 次への  
意欲 自発性